

人生100年 健やかに生きる

「生涯スポーツ」とは何か

39

北 良夫 (93)

NPO法人 ならスポーツクラブ理事長

3月ともなれば地域各地でスポーツの健しさが活発化し、様々なスポーツ行事が繰り広げられる。

20世紀の日本のスポーツは「より速く、より高く、より強く」に對して、21世紀は「より広く、より楽しく、より長く」を望む時代に向かっている。2000年にスタートした「日本のスポーツ振興基本計画」は、国民の誰でも体力、年齢、技術、関心に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツができる生涯スポーツ社会の実現を目指している。具体的に取り組むとして、国民の4人に1人

生涯スポーツ社会を目指す取り組み

が週1回スポーツができる環境を目指して発足したのが、総合型地域スポーツクラブである。25年の歳月が経つてその成果はまだ生々と言わざるを得ない。奈良県における取り組みも04年に総合型地域

日々を豊かにする文化

域スポーツ支援センターが設置されて、関係者の努力で現在は準備中を含めて、全市町村に約余のスポーツクラブが活動している。その内容も様々である。

先日「NPO法人大和ふれあいスポーツクラブ」から、3月末に開催される「大和ふれあいリレーマラソン」の案内が届いた。会場は大和郡山田まほろば健康パーク。1チーム21人編成で3時間リレーマラソンをはじめ、1・2歳の子どもマラソンなど多岐別

開催される「大和ふれあいリレーマラソン」の案内が届いた。会場は大和郡山田まほろば健康パーク。1チーム21人編成で3時間リレーマラソンをはじめ、1・2歳の子どもマラソンなど多岐別

スポーツへの参加に当たって、上手、下手、強い弱い、先入観がある、仲間入りを躊躇（ちゅうちよ）する、とが多分にある。市町村各地にスポーツが広がり、参加の機会が豊かになる昨今

ではあるが、スポーツを文化として意識を持つところまでには至っていない。豊かな生活は誰もが望むところであり、地域にスポーツが広がり、生活が豊かになるためにスポーツがあるという理解が広がることを期待すると

ころである。これまで日本の学校の課外活動では「文化部と運動部」に分かれて、スポーツは「運動部」と呼ばれて、文化ではないとの誤解が植

る。スポーツは好きな人だけが趣味でやるものではない。楽しい、面白い、見る、支えるといった人々にも受け入れられ、生きがいのある人生を導くための必需品とも言えるものである。

「スポーツは楽しく勝利はそのあと」



いい汗 いい友 笑顔でふれあい
大和ふれあいスポーツクラブ

「いい汗、いい友、笑顔でふれあい」をスローガンに活動している「大和ふれあいスポーツクラブ」の活動は2010年の設立委員会の様子。

（原稿第4土曜日の掲載）（今回は紙面制作の都合で第5土曜日の掲載になりました）